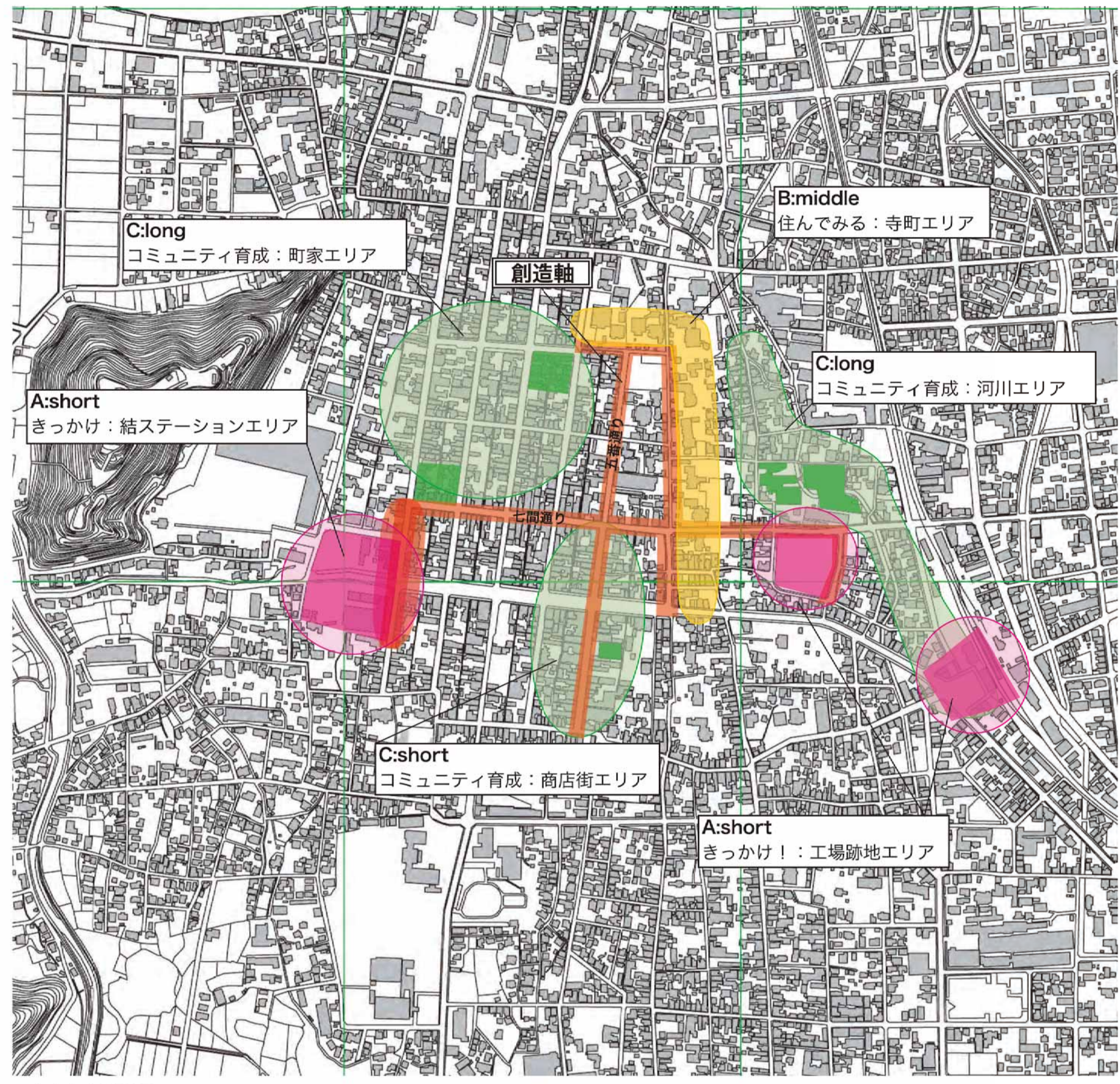


■まちなか現況図



■まちなか現況図



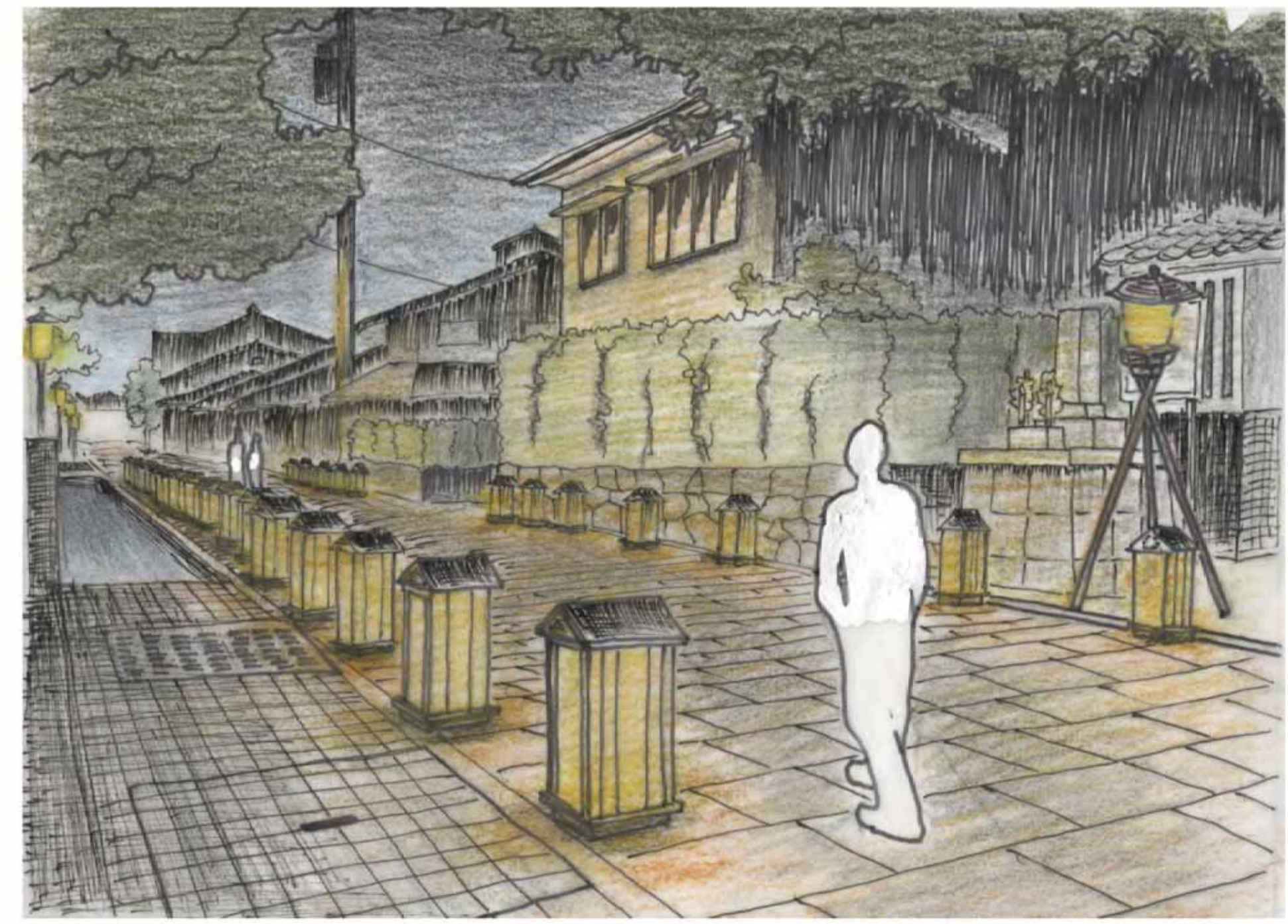
A : short
買い物・遊ぶ

▲中高生が街なかで自分達を表現する場所。駐車場などの低未利用地を大野市内7つの中学・高校が各校週1回、歌や演奏、絵画、写真などを発表する場とする。そして、七間通りが朝市なども含め毎日なにかをやっている場所にする。



B : middle
合宿・研修

▶寺町通りの夜のライトアップ。照明で彩られた通りを散歩していると、昼とは違う「表情」を見ることができる。この400年以上ずっと変わらない情緒的な風景が、訪れた人に懐かしさを感じさせる。



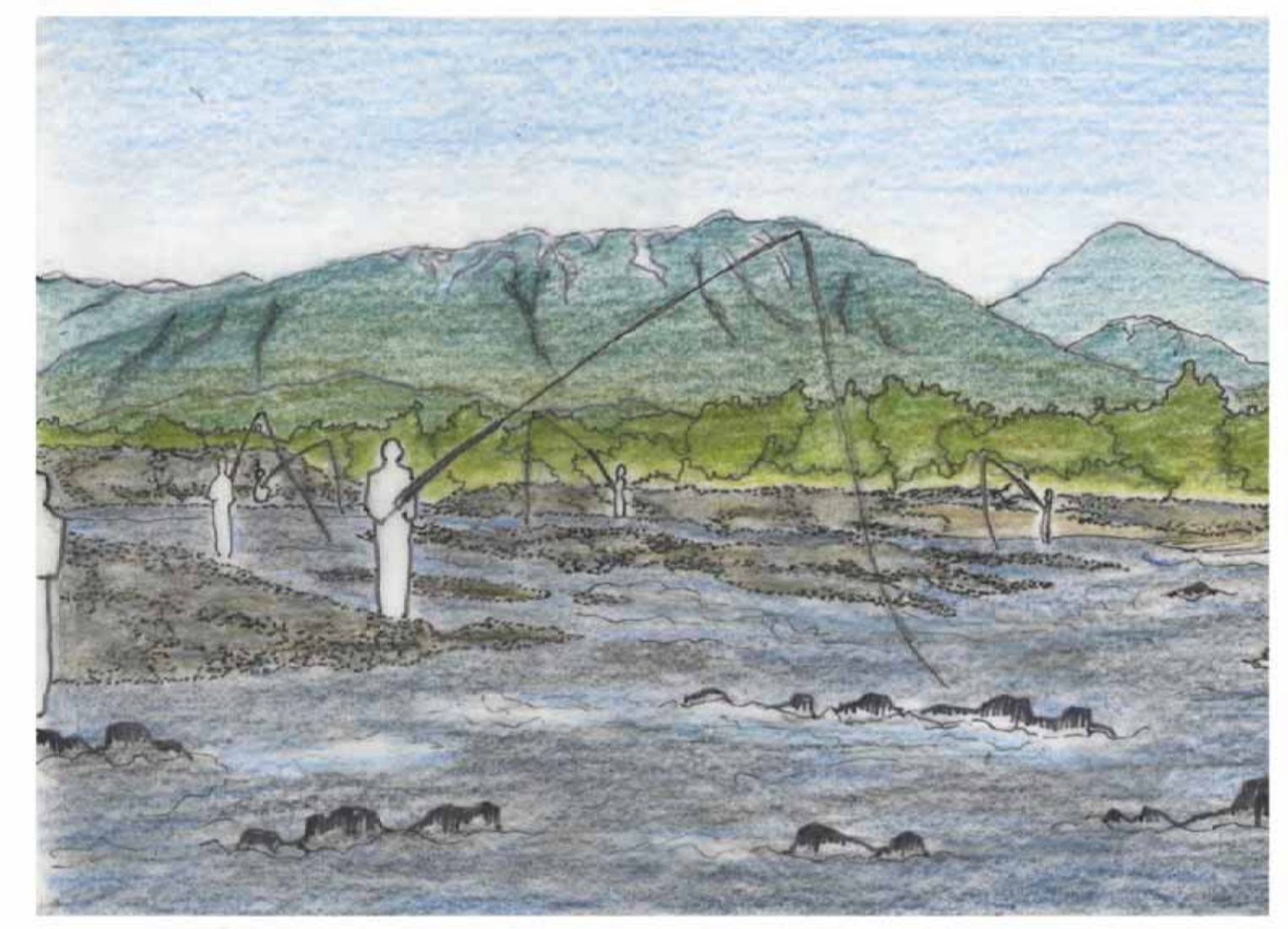
A : short
買い物・遊ぶ

◀つくって、発信する場所。空き家を利用し、学び・つくるということを定期的に行う場所とする。そして、つくったものを朝市や宵市などで発信する。



▲越前大野の軸となる七間通り。住み続けるにあたって各コミュニティ形成のプロジェクト(エリア)要素が七間通りに滲み出し、奥へと誘発させる。

C : long
住む
コミュニティ形成



B : middle
合宿・研修

▲九頭竜川での溪流釣り。同僚たちと一緒に「大野釣りツアー」を計画、主要河川を制覇するために寺町通りの宿坊に滞在している。河川をはじめ四季折々の色を見せる山々からは、越前大野の生活が豊かな自然とともに巡っていることを教えてくれる。